

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-109091

(43)Date of publication of application : 12.04.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
H04N 7/173

(21)Application number : 2000-299582

(71)Applicant : NEST WEB KK

(22)Date of filing : 29.09.2000

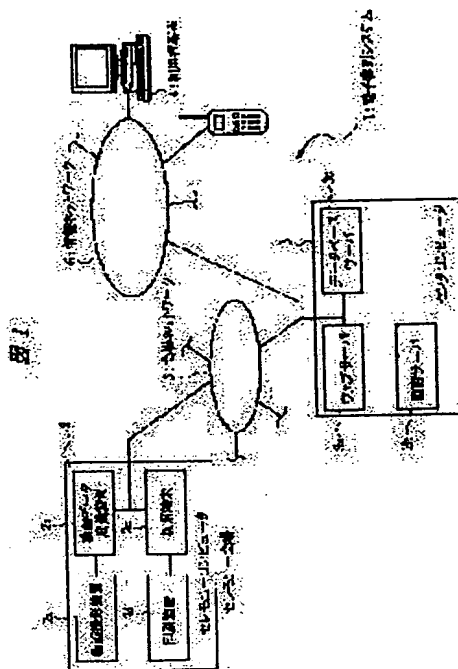
(72)Inventor : HOTTA FUMIO

(54) ELECTRONIC ATTENDING SYSTEM AND METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attend a ceremony in real time regardless of the location of the ceremony place for ceremonial occasions while staying home or the like.

SOLUTION: A user accesses a center computer 3 through an information network 6 by a user terminal 4, selects desired ceremony place and sponsor to allow the homepage of the ceremony place to attend to be displayed. At the time of attending the ceremony, a 'relay' button for viewing the live broadcast of the ceremony is selected from the menu of the homepage. The situation of the ceremony is transmitted to the center computer 3 by the live broadcast by a ceremony computer 2 and the images of the live broadcast are distributed from the center computer 3 to the user terminal 4. The distributed video of the ceremony are displayed at the user terminal 4 and the user attends the ceremony by viewing the situation of the ceremony of the live broadcast.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Best Available Copy

(19) 日本国特許庁 (J P)

公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-109091

(P 2 0 0 2 - 1 0 9 0 9 1 A)

(43) 公開日 平成14年4月12日 (2002.4.12)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード (参考)
G06F 17/60	136	G06F 17/60	136 5B049
H04N 7/173	620	H04N 7/173	620 D 5C064
	640		640 A

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全18頁)

(21) 出願番号 特願2000-299582 (P 2000-299582)

(22) 出願日 平成12年9月29日 (2000.9.29)

(71) 出願人 500457117

ネストウェブ株式会社

神奈川県横浜市中区元浜町3-21-2

(72) 発明者 堀田 文雄

神奈川県横浜市中区元浜町3-21-2 ネ
ストウェブ株式会社内

(74) 代理人 100080001

弁理士 筒井 大和 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB70 CC02 CC05 CC08 CC21

CC36 DD01 EE01 EE07 FF03

FF04 FF06 GG04 GG07

5C064 BA07 BB05 BC10 BC18 BC23

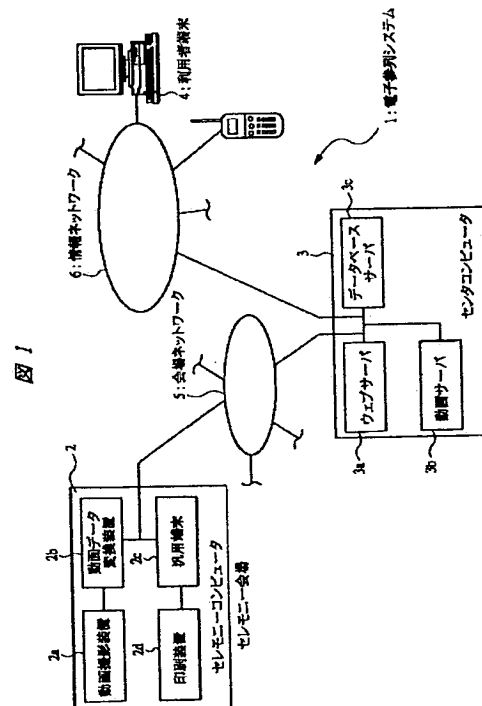
BD02 BD08

(54) 【発明の名称】 電子参列システムおよびその方法

(57) 【要約】

【課題】 自宅などにいながら冠婚葬祭のセレモニー会場の所在地を問わず、セレモニーにリアルタイムで参列する。

【解決手段】 利用者は、利用者端末4によって情報ネットワーク6を介してセンタコンピュータ3にアクセスし、希望のセレモニー会場、主催者を選択し、参列するセレモニー会場のホームページを表示させる。セレモニーに参列する際には、ホームページのメニューからセレモニーの生中継を視聴する'中継'ボタンを選択する。セレモニーの様子は、セレモニーコンピュータ2によって生中継でセンタコンピュータ3に送信されており、このセンタコンピュータ3から生中継の画像が利用者端末4に配信される。利用者端末4には配信されたセレモニーの映像が表示され、利用者は、生中継のセレモニーの様子を視聴することによってセレモニーに参列することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 冠婚葬祭のセレモニーを撮影する撮影手段と、前記撮影手段に撮影された画像データを第 1 ネットワークに送信するとともに、前記第 1 ネットワークを介して入力される各種の情報を取り込む処理端末とからなり、それぞれのセレモニー会場毎に設けられたデータ処理手段と、

第 2 ネットワークに接続され、前記第 2 ネットワークから送信されるセレモニーの画像を表示する利用者端末と、

前記第 1、第 2 ネットワークに接続され、前記処理端末から送信された画像データを、前記利用者端末の要求に応じて配信するシステム処理手段とを備えたことを特徴とする電子参列システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載の電子参列システムにおいて、前記システム処理手段に、前記データ処理手段から送信された画像データを格納する動画格納部を設け、前記利用者端末から要求された際には録画したセレモニーの画像を前記利用者端末に配信することを特徴とする電子参列システム。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載の電子参列システムにおいて、前記システム処理手段に、主催者から利用者に向けたメッセージである第 1 メッセージデータ、および前記利用者端末から送信された利用者から主催者に送るメッセージである第 2 メッセージデータを格納するデータ格納部を設け、前記利用者端末によって主催者からのメッセージの送信を要求されると前記データ格納部に予め格納された第 1 メッセージデータを前記利用者端末に配信し、前記利用者端末から利用者から主催者に送るメッセージが入力された際には、前記データ格納部に

第 2 メッセージデータを格納することを特徴とする電子参列システム。

【請求項 4】 電子参列システムによって冠婚葬祭のセレモニーに参列する電子参列方法であって、主催者に対しては、

セレモニー情報を入力する際に表示されるセレモニー情報画面からセレモニー情報を入力し、前記入力されたセレモニー情報をシステム処理手段に格納するステップと、

撮影したセレモニーの画像データをデータ処理手段からシステム処理手段に送信するステップとを有し、利用者に対しては、

利用者端末から任意のセレモニー会場を選択し、前記選択したセレモニー会場から電子参列したい主催者を選択した際に、予め格納された前記選択された主催者におけるセレモニー情報に基づいて電子参列メニューを表示するステップと、

前記電子参列メニューから前記主催者のセレモニーを中継する画像メニューを選択した際に、前記システム処理手段から配信される前記選択した主催者のセレモニーの

中継画像が前記利用者端末に表示されるステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 5】 請求項 4 記載の電子参列方法において、

前記データ処理手段から前記システム処理手段に送信されたセレモニーの画像データを前記システム処理手段の動画格納部に格納するステップと、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者がセレモニーの録画メニューを選択した際に、前記動画格納部に格納されている動画データを配信し、前記利用者端末に表示させるステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 6】 請求項 4 または 5 記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が記帳受付メニューを選択した際に記帳受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記記帳受付用の画面に入力された記帳データを前記データ処理手段に送信するステップと、

前記記帳データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 7】 請求項 4 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

主催者から利用者に向けたメッセージである文章、音声、または画像などの第 1 メッセージデータを前記データ処理手段に格納するステップと、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、主催者からのメッセージメニューを選択した際に、前記データ処理手段に格納された第 1 メッセージデータを前記利用者端末に出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 8】 請求項 4 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、利用者からのメッセージ受付メニューを選択した際に、利用者からのメッセージ受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記メッセージ受付用の画面に、文章、音声、または画像などの第 2 メッセージデータを入力するステップと、

入力された前記利用者から主催者に送る第 2 メッセージデータを前記データ処理手段に送信するステップと、前記第 2 メッセージデータを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 9】 請求項 4 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が香典受付メニューを選択した際に香典受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記香典受付用の画面に入力された香典データを前記データ処理手段に送信するステップと、
前記香典データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 1 0】 請求項 4 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、焼香・献花受付メニューを選択した際に、利用者からの焼香・献花の依頼を受け付ける焼香・献花受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記焼香・献花受付用の画面に入力された焼香・献花データを前記データ処理手段に送信するステップと、

前記焼香・献花データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 1 1】 請求項 4 ～ 1 0 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、供花・供物受付メニューを選択した際に、利用者からの供花・供物の依頼を受け付ける供花・供物受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記供花・供物受付用の画面に入力された供花・供物データを前記データ処理手段に送信するステップと、

前記供花・供物データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 1 2】 請求項 4 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が祝儀受付メニューを選択した際に祝儀受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記祝儀受付用の画面に入力された祝儀データを前記データ処理手段に送信するステップと、
前記祝儀データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【請求項 1 3】 請求項 4、5、6、7、8 または 1 2 記載の電子参列方法において、

前記利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が贈り花受付メニューを選択した際に贈り花受付用の画面を表示するステップと、

表示された前記贈り花受付用の画面に入力された贈り花データを前記データ処理手段に送信するステップと、
前記贈り花データを前記データ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする電子参列方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】本発明は、冠婚葬祭のセレモニーにおける電子参列技術に適用して有効な技術に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】冠婚葬祭などのセレモニーにおいては、出席者がセレモニー会場に直接足を運んで参列し、故人をしのんだり、あるいはカップルの新たな門出を祝福することが一般的に行われている。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記のように出席者がセレモニー会場に直接出向いていく場合、健康上の理由や時間的な余裕がない場合、あるいはセレモニー会場が遠方にあるなどによって、出席したくてもどうしてもできないという事態が生じてしまう恐れがある。

【0 0 0 4】本発明の目的は、自宅、外出先などにいながら冠婚葬祭のセレモニー会場の所在地を問わず、セレモニーにリアルタイムで参列することのできる電子参列システムおよびその方法を提供することにある。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】本発明の電子参列システムは、冠婚葬祭のセレモニーを撮影する撮影手段と、該撮影手段に撮影された画像データを第 1 ネットワークに送信するとともに、該第 1 ネットワークを介して入力される各種の情報を取り込む処理端末とからなり、それぞれのセレモニー会場毎に設けられたデータ処理手段と、第 2 ネットワークに接続され、該第 2 ネットワークから送信されるセレモニーの画像を表示する利用者端末と、第 1、第 2 ネットワークに接続され、該処理端末から送信された画像データを、利用者端末の要求に応じて配信するシステム処理手段とを備えたことを特徴とする。

【0 0 0 6】また、本発明の電子参列システムは、前記システム処理手段に、データ処理手段から送信された画像データを格納する動画格納部を設け、利用者端末から要求された際には録画したセレモニーの画像利用者端末に配信することを特徴とする。

【0 0 0 7】さらに、本発明の電子参列システムは、前記システム処理手段に、主催者から利用者に向けたメッセージである第 1 メッセージデータ、または利用者端末から送信された利用者から主催者に送るメッセージである第 2 メッセージデータを格納するデータ格納部を設け、利用者端末によって主催者からのメッセージの送信が要求された際に該データ格納部に予め格納された第 1 メッセージデータを利用者端末に配信し、利用者端末から利用者から主催者に送るメッセージが入力された際には、データ格納部に第 2 メッセージデータを格納することを特徴とする。

【0 0 0 8】また、本発明の電子参列方法は、主催者に対しては、セレモニー情報を入力する際に表示されるセレモニー情報画面からセレモニー情報を入力し、その入力されたセレモニー情報をシステム処理手段に格納するステップと、撮影したセレモニーの画像データをデータ処理手段からシステム処理手段に送信するステップとを有し、利用者に対しては、利用者端末から任意のセレモ

ニ会場を選択し、その選択したセレモニー会場から電子参列したい主催者を選択した際に、予め格納された選択された主催者におけるセレモニー情報に基づいて電子参列メニューを表示するステップと、該電子参列メニューから主催者のセレモニーを中継する画像メニューを選択した際に、システム処理手段から配信される選択した主催者のセレモニーの中継画像が利用者端末に表示されるステップとを有することを特徴とする。

【0009】さらに、本発明の電子参列方法は、データ処理手段からシステム処理手段に送信されたセレモニーの画像データをシステム処理手段の動画格納部に格納するステップと、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者がセレモニーの録画メニューを選択した際に、該動画格納部に格納されている動画データを配信し、利用者端末に表示させるステップとを有することを特徴とする。

【0010】また、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が記帳受付メニューを選択した際に記帳受付用の画面を表示するステップと、表示された記帳受付用の画面に入力された記帳データをデータ処理手段に送信するステップと、該記帳データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0011】さらに、本発明の電子参列方法は、主催者から利用者に向けたメッセージである文章、音声、または画像などの第1メッセージデータをデータ処理手段に格納するステップと、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、主催者からのメッセージメニューを選択した際に、該データ処理手段に格納された第1メッセージデータを利用者端末に出力するステップとを有することを特徴とする。

【0012】また、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、利用者からのメッセージ受付メニューを選択した際に、利用者からのメッセージ受付用の画面を表示するステップと、表示されたメッセージ受付用の画面に、文章、音声、または画像などの第2メッセージデータを入力するステップと、入力された利用者から主催者に送る第2メッセージデータをデータ処理手段に送信するステップと、該第2メッセージデータをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0013】さらに、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が香典受付メニューを選択した際に香典受付用の画面を表示するステップと、表示された香典受付用の画面に入力された香典データをデータ処理手段に送信するステップと、該香典データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0014】また、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、焼香

・献花受付メニューを選択した際に、利用者からの焼香・献花の依頼を受け付ける焼香・献花受付用の画面を表示するステップと、表示された焼香・献花受付用の画面に入力された焼香・献花データをデータ処理手段に送信するステップと、該焼香・献花データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0015】さらに、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が、供花・供物受付メニューを選択した際に、利用者からの供花・供物の依頼を受け付ける供花・供物受付用の画面を表示するステップと、表示された供花・供物受付用の画面に入力された供花・供物データをデータ処理手段に送信するステップと、該供花・供物データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0016】また、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が祝儀受付メニューを選択した際に祝儀受付用の画面を表示するステップと、表示された祝儀受付用の画面に入力された祝儀データをデータ処理手段に送信するステップと、該祝儀データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0017】さらに、本発明の電子参列方法は、利用者端末に表示された電子参列メニューから、利用者が贈り花受付メニューを選択した際に贈り花受付用の画面を表示するステップと、表示された贈り花受付用の画面に入力された贈り花データをデータ処理手段に送信するステップと、該贈り花データをデータ処理手段から出力するステップとを有することを特徴とする。

【0018】以上のことにより、利用者が自宅や外出先などにいながらにして、冠婚葬祭のセレモニーに参列することができ、利用者の利便性を大幅に高めることができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。

【0020】図1は、本発明の一実施の形態による電子参列システムのブロック図、図2～図7は、図1の電子参列システムにおけるセレモニー情報の登録の際に表示される画面の説明図、図8～図13は、図1の電子参列システムを用いて利用者端末から告別式に参列するまでに表示される画面の説明図、図14、図15は、図1の電子参列システムを用いて利用者端末から記帳する際に表示される画面の説明図、図16、図17は、図1の電子参列システムを用いて利用者端末から香典を依頼する際に表示される画面の説明図、図18、図19は、図1の電子参列システムを用いて利用者端末から主催者にメッセージを送るまで表示される画面の説明図、図20は、図1の電子参列システムを用いて利用者端末から利用者のメッセージを主催者に送るまで表示される画面の説明図、図21、図22は、図1の電子参列システムを

用いて利用者端末から焼香・献花の代行業を依頼するまで表示される画面の説明図、図 23、図 24 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から供花・供物を依頼するまでに表示される画面の説明図、図 25 は、図 1 の電子参列システムにより利用者が告別式に参列するまでのフローチャート、図 26 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から記帳するまでを示すフローチャート、図 27 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から香典を依頼するまでを示すフローチャート、図 28 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から主催者にメッセージを送るまでを示すフローチャート、図 29 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から利用者のメッセージを主催者に送るまでを示すフローチャート、図 30 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から焼香・献花の代行業を依頼するまでを示すフローチャート、図 31 は、図 1 の電子参列システムを用いて利用者端末から供花・供物を依頼するまでを示すフローチャートである。

【0021】本実施の形態において、電子参列システム 1 は、不特定多数の利用者が冠婚葬祭のセレモニー会場の所在地を問わず、該セレモニーにリアルタイムで参列できるシステムである。

【0022】この電子参列システム 1 は、図 1 に示すように、複数のセレモニーコンピュータ（データ処理手段）2、センタコンピュータ（システム処理手段）3、ならびに利用者端末 4 から構成されている。

【0023】セレモニーコンピュータ 2 は、結婚式、あるいは葬儀などを行うそれぞれのセレモニー会場に設けられており、これらセレモニーコンピュータ 2 とセンタコンピュータ 3 とは、電話回線、または専用回線などの会場ネットワーク（第 1 ネットワーク）5 を介して接続されている。

【0024】センタコンピュータ 3 には、不特定多数の利用者が利用する利用者端末 4 が、いわゆるインターネットなどの情報ネットワーク（第 2 ネットワーク）6 を介して接続されている。

【0025】また、利用者端末 4 は、携帯可能でパケット通信などの通信機能を有した携帯電話機、あるいは PDA（Personal Digital Assistants）などの携帯端末情報通信機器であってもよく、その場合、無線ネットワーク、および有線ネットワークなどの電話回線を介して情報ネットワーク 6 に接続される。

【0026】さらに、ここでは、セレモニーコンピュータ 2 とセンタコンピュータ 3 とが会場ネットワーク 5 を介して接続された場合について記載したが、たとえば、会場ネットワーク 5 を用いずに、セレモニーコンピュータ 2 を情報ネットワーク 6 に接続し、該情報ネットワーク 6 を介してセンタコンピュータ 3 にアクセスするようにしてもよい。

【0027】センタコンピュータ 3 は、セレモニーコンピュータ 2、および利用者端末 4 からの依頼に応じて様々な処理を実行したり、送信される情報を一元的に管理するものであり、情報を集中的に管理する管理センタなどに設けられている。

【0028】また、セレモニーコンピュータ 2 は、動画撮影装置（撮影手段）2a、動画データ変換装置 2b、汎用端末（処理端末）2c、および印刷装置 2d などから構成されている。動画撮影装置 2a はカメラとマイクなどからなり、セレモニーの様子を撮影し、音声を取り込む。

【0029】動画データ変換装置 2b は、動画撮影装置 2a が取り込んだ動画データ、音声データを利用者端末 4 上において表示できるように変換したり、動画データ、音声データを圧縮する。汎用端末 2c は、センタコンピュータ 3 とデータをやり取りし、印刷装置 2d は、該汎用端末 2c などに表示された任意のデータなどを印刷する。

【0030】さらに、センタコンピュータ 3 は、ウェブサーバ 3a、動画サーバ 3b、ならびにデータベースサーバ 3c などから構成されている。ウェブサーバ 3a は、情報ネットワーク 6 を通じて不特定多数の利用者に閲覧してもらうマルチメディアコンテンツ、いわゆるホームページが格納されており、センタコンピュータ 3 の制御を司る。

【0031】動画サーバ 3b は、セレモニーコンピュータ 2 から送信された画像データを格納する。データベースサーバ 3c には、セレモニー情報、および利用者端末 4 から入力されるデータなどの様々な情報が格納される。

【0032】また、セレモニー情報は、セレモニーの種類、セレモニー内容、電子参列システム 1 における利用機能、セレモニー会場名、セレモニー会場の住所、電話番号、セレモニーの日程、タイムスケジュール、セレモニー ID、およびセレモニー会場のホームページなどからなる。

【0033】ここで、セレモニー情報の登録方法について説明する。

【0034】セレモニー情報は、各セレモニー会場に設けられたセレモニーコンピュータ 2 から入力する。このセレモニー情報は、セレモニーコンピュータ 2 に表示されるセレモニー情報画面から入力する。

【0035】セレモニーコンピュータ 2 がセンタコンピュータ 3 にアクセスすると、セレモニーコンピュータ 2 には、セレモニー情報を入力するセレモニー情報画面として最初にセレモニー種別が表示される。

【0036】このセレモニー種別は、図 2 に示すように、結婚式とその式の形式（仏式、神式、キリスト教式など）、および告別式と宗派などが一覧表形式となっており、該一覧表からセレモニー種別をマウスなどによ

て選択する。

【0037】セレモニー種別を選択した後、セレモニー内容を入力する。このセレモニー内容は、たとえば、告別式の場合には、図3に示すように、故人名、喪主名、続柄、開催日時、開始時間、終了時間などであり、結婚式の場合には、主催者名、開催日時、開始時間、終了時間などである。

【0038】これらセレモニー内容を入力後、利用機能を選択して入力する。利用機能は、電子参列システム1において利用できる機能を一覧表形式で表示したものである。 10

【0039】告別式の場合には、図4に示すように、会場の映像中継、記帳受付、香典受付、焼香・献花受付、供花・供物受付などがあり、結婚式の場合には、会場の映像中継、記帳受付、ご祝儀受付、祝辞受付、および新郎新婦のためにセレモニー会場などに花を届ける贈り花受付などがあり、マウスなどによって利用したい機能を選択する。

【0040】そして、選択した機能に対する開始時刻、終了時刻などの機能設定情報を図5の表示画面から入力し、セレモニーを公開とするか、非公開とするかを図6の画面から選択する。 20

【0041】公開とした場合には、不特定多数の利用者がセレモニーを視聴することが可能となり、非公開とした場合には、特定の利用者だけがセレモニーを視聴することができるようになる。

【0042】これらのセレモニー情報が入力されると、図7に示すように、入力したセレモニー情報の内容確認画面が表示され、間違いがない場合には、'確認'ボタンを選択し、間違いがある場合には'戻る'ボタンを選択する。 30

【0043】'確認'ボタンを選択すると、入力したセレモニー情報がウェブサーバ3aを介してデータベースサーバ3cに格納される。このとき、セレモニーの非公開を選択している場合には、セレモニーIDが付与され、セレモニー情報を入力した主催者などに通知される。また、'戻る'ボタンを選択した際には、セレモニー種別の表示画面(図2)に戻り、セレモニー情報を再入力する。

【0044】次に、電子参列システム1による電子参列技術について、図1、図8～図24の表示画面の説明図、および図25～図31のフローチャートを用いて説明する。ここでは、一例として利用者が告別式の参列を選択した場合について説明する。

【0045】まず、利用者が、告別式に参列するまでを、図25のフローチャートを用いて説明する。

【0046】利用者は、情報ネットワーク6を介してセンタコンピュータ3にアクセスし(ステップS101)、図8に示す初期画面のホームページを受信する(ステップS102)。

【0047】この初期画面には、全国のセレモニー会場を検索する'セレモニー検索'ボタン、ならびにセレモニーIDを知ってる利用者だけが利用できる'セレモニーIDアクセス'ボタンが表示されており、利用者は、いずれかのボタンをマウスなどによってクリックして選択する(ステップS103)。

【0048】ここで、セレモニーIDについて説明する。

【0049】このセレモニーIDは、セレモニーを行う主催者がインターネット上では非公開とし、特定の利用者だけにセレモニーを公開する場合に付与されるものであり、前述したセレモニー情報の登録時に付与されたセレモニーIDを予め主催者が特定の利用者だけに通知する。

【0050】また、セレモニーIDは、たとえば、固有番号とパスワードとからなり、ステップS103の処理において、'セレモニー検索'ボタンを選択しても、非公開に指定したセレモニーは検索結果としては表示されない。

【0051】ステップS103の処理において、利用者が'セレモニー検索'ボタンを選択した場合には、図9に示すように、会場の所在地を都道府県別に選択する日本地図の画面が表示される。

【0052】また、会場の所在地は、図9に示す日本地図以外に、たとえば、都道府県を一覧表形式に表示し、その一覧表から選択したり、または都道府県名を入力して検索するワード検索画面を表示したり、これら日本地図、一覧表、およびワード検索の画面を組み合わせる表示するようにしてもよい。

【0053】さらに、会場の所在地を都道府県別に選択する画面に、主催者名、セレモニー会場名、またはセレモニーの開催月日の少なくともいずれか1つを入力する入力欄を設けるようにしてもよい。

【0054】この場合、ウェブサーバ3aはデータベースサーバ3cを検索し、前述した入力欄に入力されたデータに該当する全国の参列可能なセレモニー会場名とその住所などの一覧表を利用者端末4に表示する。

【0055】また、主催者名、セレモニー会場名、ならびにセレモニーの開催月日をすべて入力した際には該当するセレモニー会場のホームページを利用者端末4に表示するようにしてもよい。

【0056】そして、利用者が、所在地を選択する画面から希望する所在地、たとえば、都道府県をマウスなどによってクリックして選択すると(ステップS104)、データベースサーバ3cが格納されたデータを検索し、図10に示すように、選択した都道府県において参列可能なセレモニー会場名とその住所などが記載された一覧表を利用者端末4に表示する(ステップS105)。

50 【0057】利用者は、表示された一覧表から希望のセ

レモニー会場をマウスなどによって選択する(ステップS106)。データベースサーバ3cは、選択された会場で催される予定を検索し、図11に示すように、検索結果である月刊予定表を利用者端末4に表示する(ステップS107)。

【0058】そして、利用者が、表示された予定表から該当する月日をマウスなどによって選択すると(ステップS108)、データベースサーバ3cは選択された月日のセレモニーを検索し、図12に示すように、その検索結果を一覧表形式で利用者端末4に表示させる(ステップS109)。

【0059】同様に、利用者は、表示された一覧表から参列したいセレモニーを選択する(ステップS110)。この一覧表から任意のセレモニーが選択されると、図13に示すように、そのセレモニー会場のホームページが利用者端末4に表示される(ステップS111)。

【0060】また、ステップS103の処理において、利用者が「セレモニーIDアクセス」ボタンを選択した場合には、利用者端末4には、セレモニーIDを入力するIDボックスが表示されており、利用者は、利用者端末4からIDボックスにセレモニーIDを入力する(ステップS112)。

【0061】そして、ウェブサーバ3aによって入力されたセレモニーIDが正しいと判断されると(ステップS113)、ステップS111の処理におけるセレモニー会場のホームページ(図13)が利用者端末4に表示され、セレモニーIDが間違っている場合には、初期画面のホームページが表示される。よって、「セレモニーIDアクセス」ボタンを選択した際に、このセレモニーIDを知らない利用者は先の処理には進めないことになる。

【0062】表示されたセレモニー会場のホームページには、動画が表示されるウィンドウ、セレモニーの生中継を視聴する「中継」ボタン(画像メニュー、電子参列メニュー)、録画されたセレモニーを視聴する「録画」ボタン(録画メニュー、電子参列メニュー)、ならびにメニューボタン(電子参列メニュー)が表示されている。

【0063】表示されるメニューボタンは、前述したセレモニー情報の登録において選択した利用機能が表示される。ここでは、メニューボタンとして、記帳受付、香典の受付、焼香・献花の受付、供花・供物の受付、利用者からのメッセージ受付、ならびに主催者からのメッセージなどがあるものとする。

【0064】利用者は、セレモニー会場のホームページから希望のボタンを選択する(ステップS115)。たとえば、「中継」ボタンを選択した際には、セレモニーコンピュータ2から送信される生中継のセレモニーの様子がウィンドウに表示され、視聴することによって利用

者はセレモニーに参列することができる。

【0065】このセレモニーの様子は、前述したようにセレモニーコンピュータ2によって生中継で送信されるとともにセンタコンピュータ3の動画サーバ3bに格納されており、利用者が希望すれば、その録画映像を視聴することもできる。

【0066】録画映像は、任意の単位に分割されており、個々の単位毎に録画映像を視聴することができる。たとえば、告別式が17時00分～18時30分までの場合、30分を1単位とし、告別式の開始時間である17時00分から17時30分までの30分間を録画映像1、17時30分から18時00分までの30分間を録画映像2、18時00分から18時30分までの30分間を録画映像3として3分割し、3つの「録画中継1～3」ボタンをそれぞれ設ける。

【0067】17時00分から17時30分までの録画映像は、たとえば、17時40分頃に配信が開始され、この時間になると「録画中継1」ボタンが選択可能となり、録画映像1が視聴できる。

【0068】また、17時30分から18時00分までの録画映像は18時10分頃に配信が開始され、この配信時間になると「録画中継2」ボタンが選択可能となる。同様に、18時00分から18時30分までの録画映像は18時40分頃に配信が開始され、この配信時間に合わせて「録画中継3」ボタンが選択可能となる。

【0069】そして、18時40分以降は、「録画中継1～3」のボタンがすべて選択可能となり、利用者がセレモニーの開始時刻を過ぎて、あるいはセレモニーの終了後にセレモニー会場のホームページを訪れても、これら「録画中継1～3」ボタンを選択することによって録画映像を視聴し、参列することができる。

【0070】「録画中継1～3」のボタンは、データベースサーバ3cに格納されたセレモニー内容に基づいてウェブサーバ3aが自動的に利用者端末4から選択可能となるように制御を行う。

【0071】これによって、利用者は、告別式の開始時刻に遅れてセレモニー会場のホームページにアクセスした場合であっても、セレモニーを最初から最後まで視聴することができる。

【0072】次に、利用者が記帳を行う場合について、図26のフローチャートを用いて説明する。

【0073】利用者は、セレモニー会場におけるホームページのメニューボタンから「記帳受付」ボタンを選択すると(ステップS201)、利用者端末4には、図14に示すように、記帳受付用の画面が表示される(ステップS202)。

【0074】利用者は、この画面から、利用者自身の名前、住所、電話番号、電子メールアドレスなどの必要項目を入力した後(ステップS203)、「次へ」ボタンをクリックし、これらの情報をウェブサーバ3aに送信

する。

【0075】情報が送信されたウェブサーバ3aは、利用者端末4に、図15に示すように、記帳内容が正しいかを確認する確認画面を表示させる（ステップS204）。表示された情報が正しい場合には画面の‘決定’ボタンを選択し、間違いがある場合には‘戻る’ボタンを選択する（ステップS205）。

【0076】利用者が‘決定’ボタンを選択した際には、利用者端末4から入力された記帳の情報がデータベースサーバ3cに格納されるとともに（ステップS206）、利用者端末4にはセレモニー会場のホームページ画面が表示される、（ステップS207）。

【0077】また、データベースサーバ3cに格納された記帳の情報は、予め設定された時刻に集計された後、セレモニーコンピュータ2に送信される。セレモニー会場側では、セレモニーコンピュータ2に送信された記帳の情報を印刷装置2dなどによって印刷し、主催者に引き渡す。さらに、ステップS205の処理で‘戻る’ボタンを選択した場合には、記帳受付用の画面に戻り、情報の再入力を行う。

【0078】この記帳は、前述したセレモニー情報の入力の際にデータベースサーバ3cに設定された機能設定情報（図5）に基づいてウェブサーバ3aが自動的に利用者端末4から選択可能となるように制御を行う。

【0079】たとえば、告別式が17時00分～18時30分の場合に、記帳受付が16時00分から24時00分までと設定されている場合には、自動的に告別式が始まる1時間前から受付が開始され、告別式の終了から3時間30後に受付が終了されることになる。

【0080】次に、利用者が利用者端末4から香典を渡す場合について、図27のフローチャートを用いて説明する。

【0081】まず、利用者は、セレモニー会場におけるホームページのメニューボタンから‘香典の受付’ボタンを選択する（ステップS301）。利用者端末4には、図16に示すように、香典受付用の画面が表示される（ステップS302）。

【0082】利用者は、この画面から、利用者自身の名前、住所、電話番号、電子メールアドレス、香典の種類（金額）、香典に添えるメッセージの有無（メッセージがある場合にはメッセージを記載する）などを入力し（ステップS303）、‘次へ’ボタンをクリックし、これらの情報をウェブサーバ3aに送信する。

【0083】情報が送信されたウェブサーバ3aは、利用者端末4に、決済方法の画面を表示させる（ステップS304）。決済方法としては、たとえば、クレジットカード、銀行振り込み、現金書留などである。利用者は、決済方法の画面から任意の決済方法を選択し、‘次へ’ボタンを選択してウェブサーバ3aに送信する（ステップS305）。

【0084】そして、ウェブサーバ3aは、図17に示すように、利用者端末4から入力されたこれらの情報を確認する確認画面を表示させる（ステップS306）。表示された情報が正しい場合には画面の‘決定’ボタンを選択し、間違いがある場合には‘戻る’ボタンを選択する（ステップS307）。

【0085】利用者が‘決定’ボタンを選択した際には、利用者端末4から入力された情報がデータベースサーバ3cに格納されるとともに（ステップS308）、利用者端末4にはセレモニー会場のホームページ画面が表示される（ステップS309）。さらに、ステップS307の処理で‘戻る’ボタンを選択した場合には、香典受け付け用の画面に戻り、情報の再入力を行う。

【0086】また、データベースサーバ3cに格納された香典受付の情報は、予め設定された時刻に集計された後、セレモニーコンピュータ2に送信される。セレモニー会場側では、セレモニーコンピュータ2に送信された香典受付の情報に基づいて、注文された香典を準備し、主催者に引き渡しを行う。

【0087】この香典の場合も、前述したセレモニー情報の入力の際にデータベースサーバ3cに設定された機能設定情報（図5）に基づいてウェブサーバ3aが自動的に利用者端末4から選択可能となるように制御を行う。

【0088】たとえば、告別式が17時00分～18時30分の場合に、香典受付が16時00分から24時00分までと設定されている場合には、自動的に告別式が始まる1時間前から香典受付が開始され、告別式の終了から3時間30後に香典受付が終了する。

【0089】次に、利用者が、主催者にメッセージを送る場合について、図28のフローチャートを用いて説明する。

【0090】利用者が、セレモニー会場のホームページのメニューから‘利用者からのメッセージ受付’ボタンを選択すると（ステップS401）、利用者端末4には、図18に示すメッセージ受付画面が表示される（ステップS402）。

【0091】利用者は、メッセージ受付画面の宛名、御氏名、御住所、電話番号などの記入項目に沿って記入した後（ステップS403）、文書によるメッセージの‘あり’ボタン、または‘なし’ボタンをマウスによりクリックして選択し（ステップS404）、‘次へ’ボタンを選択して、これらの情報をウェブサーバ3aに送信する。

【0092】ステップS403の処理において、文書によるメッセージの‘あり’ボタンを選択した際には、図19に示すように、たとえば、背景などが異なる複数種類の用紙、文書レイアウト、文書例などの選択用画面が示される（ステップS405）。これら用紙、文書レイアウト、文書例など情報はデータベースサーバ3cに格

納されている。

【0093】利用者は、表示された選択用画面から用紙、文書レイアウト、文書例などを選択した後（ステップS406）、‘次へ’ボタンを選択してウェブサーバ3aに送信する。

【0094】ここで、文書例には、いくつかの例文の他に、自分で記入する際に選択するボタンが設けられており、このボタンを選択することによって利用者自身がメッセージを記入したり、文書例を加筆修正、あるいは削除することが可能である。

【0095】さらに、ステップS404の処理において、文書によるメッセージの‘なし’ボタンを選択した場合、あるいはステップS406の処理で‘次へ’ボタンを選択した際、利用者端末4には、添付ファイルの画面が表示される（ステップS407）。ここでは、利用者が作成した音声データや画像データなどのファイルを添付して送信することができる。

【0096】音声データや画像データなどのファイルがある場合には、ファイル添付した後に‘次へ’ボタンを選択する。添付ファイルがない場合も同様に‘次へ’ボタンを選択する。

【0097】その後、利用者端末4には、利用者が選択、ならびに記入した情報が確認画面として一括して表示される（ステップS408）。表示された情報が正しい場合には、‘決定’ボタンを選択する（ステップS409）。

【0098】この‘決定’ボタンが選択されることによって、入力された情報（第2メッセージデータ）がデータベースサーバ3cに格納されるとともに（ステップS410）、利用者端末4にセレモニー会場のホームページ画面が表示される（ステップS411）。

【0099】また、メッセージの文書が間違っている場合には、‘文書修正’ボタンを選択し、メッセージの修正を行い、用紙の選択などの選択した情報が間違っている場合には、‘戻る’ボタンをクリックし、メッセージ受付画面に戻って情報を再入力する。

【0100】そして、データベースサーバ3cに格納された情報は、予め設定されている時刻になると自動的に集計され、セレモニーコンピュータ2に送信される。セレモニー会場側では、セレモニーコンピュータ2に送信された利用者のメッセージを印刷装置2dなどによって印刷して主催者に引き渡す。

【0101】添付ファイルがある場合には、フロッピー（登録商標）ディスクや、CD-ROMなどの記憶媒体に添付ファイルを書き込み、同様に主催者に引き渡す。このとき、セレモニー会場にプロジェクトなどを設置し、利用者からの画像データなどの添付ファイルをセレモニー中に映写するようにしてもよい。

【0102】次に、主催者からのメッセージを利用者が聞く場合について、図29のフローチャートを用いて説

明する。

【0103】利用者が、主催者からのメッセージを聞きたい場合には、利用者が、‘主催者からのメッセージ’ボタンを選択する（ステップS501）。これにより、利用者端末4には、図20に示すメッセージ画面が表示される（ステップS502）。

【0104】メッセージ画面には、‘喪主挨拶’ボタン、および‘故人からの生前のメッセージ’ボタンなどが設けられている。また、画像などがいない場合などには、‘故人からの生前のメッセージ’ボタンは表示されない。利用者は‘喪主挨拶’ボタン、あるいは‘故人からの生前のメッセージ’ボタンを選択し（ステップS503）、主催者からのメッセージや故人からの生前のメッセージを視聴することができる（ステップS504）。

【0105】そして、これらのメッセージが終了すると、利用者端末4にセレモニー会場のホームページ画面が表示される（ステップS505）。これら喪主挨拶や故人からの生前のメッセージなどの情報（第1メッセージデータ）は、データベースサーバ3cに予め格納されている。

【0106】メッセージは、主催者から利用者に向けた来場のお礼などが一般的であるが、たとえば、葬祭セレモニーの場合では、故人が生前に葬祭セレモニーを前提に撮影しておいた画像などがある場合には、この画像を送信することによって、より電子参列システム1の利用意義を高めることができる。

【0107】さらに、これらメッセージは、予めデータベースサーバ3cに格納されており、メッセージの形態としては、動画データ、音声データ、文章データ、静止画データ、あるいはこれらの組み合わせなどがある。

【0108】次に、利用者が焼香・献花を行う場合について、図30のフローチャートを用いて説明する。

【0109】利用者が、セレモニー会場におけるホームページのメニューボタンから‘焼香・献花の受付’ボタンを選択を選択すると（ステップS601）、利用者端末4には、図21に示すように、焼香・献花の受付用の画面が表示される（ステップS602）。

【0110】ここで、焼香、または献花は、宗派によっては行わない場合があるので、ウェブサーバ3aは、予め登録されたセレモニー情報から該当するボタンのみを表示するようにしてもよい。

【0111】この場合、たとえば、セレモニー情報に焼香を行わない宗派が登録されている場合、ウェブサーバ3aは、‘焼香・献花の受付’ボタンではなく、‘献花の受付’ボタンとしてセレモニー会場におけるホームページのメニューボタンに表示する。

【0112】利用者は、この画面から、氏名、住所などの項目を記入した後、焼香を依頼する際には‘焼香依頼’ボタンを選択し、献花を依頼する場合には‘献花依

頼' ボタンを選択する (ステップ S 6 0 3)。

【0113】ボタンが選択されると、画面に入力した情報がウェブサーバ 3 a に送信される。ウェブサーバ 3 a は送信された情報を受けて、焼香依頼の場合にはデータベースサーバ 3 c に格納されている焼香の画像データをセレモニーコンピュータ 2 に送信し、図 2 2 に示すように、焼香の様子動画などを表示させる。また、セレモニー会場には待機した係員が、利用者の代理として焼香を行う。

【0114】献花の場合には、データベースサーバ 3 c に格納されている献花の画像データをセレモニーコンピュータ 2 に送信し、献花の様子動画など表示させる (ステップ S 6 0 4)。ここでも、セレモニー会場に待機した係員が、利用者の代理として献花を行う。そして、動画などの表示が終了すると、セレモニー会場のホームページの画面に戻る (ステップ S 6 0 5)。

【0115】この焼香・献花の場合も、前述したセレモニー情報の入力の際にデータベースサーバ 3 c に設定された機能設定情報 (図 5) に基づいてウェブサーバ 3 a が自動的に利用者端末 4 から選択可能となるように制御を行う。

【0116】たとえば、焼香・献花の受付が告別式の開始から終了までと設定されている場合には、自動的に告別式が開始から焼香・献花の受付が開始され、告別式が終了すると焼香・献花の受付が終了となる。

【0117】次に、利用者が、供花・供物を供える場合について、図 3 1 のフローチャートを用いて説明する。

【0118】利用者が、セレモニー会場におけるホームページのメニューボタンから ' 供花・供物の受付 ' ボタンを選択すると (ステップ S 7 0 1)、利用者端末 4 には、図 2 3 に示すように、供花・供物の受付用の画面が表示される (ステップ S 7 0 2)。

【0119】利用者は、この画面から、宛名、名前、住所、電話番号、電子メールアドレス、などの必要事項を記入した後、表示されている複数種類の供花・供物から希望する品物を選択する (ステップ S 7 0 3)。

【0120】また、供花・供物に添えるメッセージがある場合には、メッセージの有無を ' ある '、' なし ' ボタンから選択し (ステップ S 7 0 4)、メッセージがある場合には所定のメッセージ欄にメッセージを記入する (ステップ S 7 0 5)。その後、画面の ' 次へ ' ボタンを選択し、これらの情報をウェブサーバ 3 a に送信する。

【0121】情報が送信されるとウェブサーバ 3 a は、利用者端末 4 に、決済方法の画面を表示させる (ステップ S 7 0 6)。利用者は、決済方法の画面から任意の決済方法を選択し (ステップ S 7 0 7)、' 次へ ' ボタンを選択してウェブサーバ 3 a に送信する。

【0122】ウェブサーバ 3 a は、図 2 4 に示すように、利用者端末 4 から入力されたこれらの情報を確認す

る確認画面を表示させる (ステップ S 7 0 8)。表示された情報が正しい場合には画面の ' 決定 ' ボタンを選択し、間違いがある場合には ' 戻る ' ボタンを選択する (ステップ S 7 0 9)。

【0123】利用者が ' 決定 ' ボタンを選択した際には、利用者端末 4 から入力された情報がデータベースサーバ 3 c に格納されるとともに (ステップ S 7 1 0)、利用者端末 4 にはセレモニー会場のホームページ画面が表示される (ステップ S 7 1 1)。さらに、ステップ S 7 0 9 の処理で ' 戻る ' ボタンを選択した場合には、供花・供物受け付け用の画面に戻り、情報の再入力を行う。

【0124】また、データベースサーバ 3 c に格納された供花・供物受付の情報は、予め設定された時刻に集計された後、セレモニーコンピュータ 2 に送信される。セレモニー会場側では、送信された供花・供物受付の情報に基づいて、供花・供物を手配し、主催者に引き渡したり、あるいは会場に設置する。

【0125】この供花・供物の場合も、前述したセレモニー情報の入力の際にデータベースサーバ 3 c に設定された機能設定情報 (図 5) に基づいてウェブサーバ 3 a が自動的に利用者端末 4 から選択可能となるように制御を行う。

【0126】たとえば、告別式が 1 7 時 0 0 分 ~ 1 8 時 3 0 分の場合に、供花・供物の受付が 1 4 時 0 0 分から 1 7 時 0 0 分までと設定されている場合には、自動的に告別式が始まる 3 時間前から供花・供物の受付が開始され、告別式の終了と同時に供花・供物の受付が終了になる。

【0127】それにより、本実施の形態によれば、電子参列システム 1 により、利用者端末 4 があれば、利用者は自宅や外出先などのどのような場所であっても冠婚葬祭のセレモニーにリアルタイムで参列することができ、利用者の利便性を大幅に高めることができる。

【0128】本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

【0129】また、前記実施の形態では、電子参列システムの構成として告別式に参列する場合について記載したが、この電子参列システムは、たとえば、香典受付を祝儀受付、供花・供物受付を贈り花受付、主催者からのメッセージ、利用者から主催者へのメッセージなどを慶事用に代えることによって結婚式に電子参列できるシステムとすることができるなど、冠婚葬祭のすべてのセレモニーに用いることができる。

【0130】

【発明の効果】 (1) 本発明によれば、利用者端末があれば、自宅、外出先などにいながらして全国各地の冠婚葬祭のセレモニーにリアルタイムで参列することができる。

(2) また、本発明では、利用者端末にセレモニの録画画像を表示することができるので、セレモニの開始時刻を逃してもセレモニの様子を開始から終了まで見ることができる。

(3) さらに、本発明においては、上記(1)、(2)により、利用者の利便性を大幅に高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の一実施の形態による電子参列システムのブロック図である。

【図2】図1の電子参列システムにおけるセレモニ情報の登録の際に表示される画面の説明図である。

【図3】図2に続く電子参列システムによるセレモニ情報の登録時における画面の説明図である。

【図4】図3に続く電子参列システムによるセレモニ情報の登録時における画面の説明図である。

【図5】図4に続く電子参列システムによるセレモニ情報の登録時における画面の説明図である。

【図6】図5に続く電子参列システムによるセレモニ情報の登録時における画面の説明図である。

【図7】図6に続く電子参列システムによるセレモニ情報の登録時における画面の説明図である。

【図8】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から告別式に参列するまでに表示される画面の説明図である。

【図9】図8に続く電子参列システムによる告別式の参列までの表示画面の説明図である。

【図10】図9に続く電子参列システムによる告別式の参列までの表示画面の説明図である。

【図11】図10に続く電子参列システムによる告別式の参列までの表示画面の説明図である。

【図12】図11に続く電子参列システムによる告別式の参列までの表示画面の説明図である。

【図13】図12に続く電子参列システムによる告別式の参列までの表示画面の説明図である。

【図14】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から記帳する際に表示される画面の説明図である。

【図15】図14に続く電子参列システムによる記帳受付の表示画面の説明図である。

【図16】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から香典を依頼する際に表示される画面の説明図である。

【図17】図16に続く電子参列システムによる香典を依頼時の表示画面の説明図である。

【図18】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から主催者にメッセージを送るまで表示される画面の説明図である。

【図19】図18に続く電子参列システムによる主催者

にメッセージを送る際の表示画面の説明図である。

【図20】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から利用者のメッセージを主催者に送るまで表示される画面の説明図である。

【図21】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から焼香・献花の代行を依頼するまで表示される画面の説明図である。

【図22】図21に続く電子参列システムによる焼香・献花依頼の際の表示画面の説明図である。

【図23】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から供花・供物を依頼するまでに表示される画面の説明図である。

【図24】図23に続く電子参列システムによる供花・供物依頼の際の表示画面の説明図である。

【図25】図1の電子参列システムにより利用者が告別式に参列するまでのフローチャートである。

【図26】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から記帳するまでを示すフローチャートである。

【図27】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から香典を依頼するまでを示すフローチャートである。

【図28】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から主催者にメッセージを送るまでを示すフローチャートである。

【図29】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から利用者のメッセージを主催者に送るまでを示すフローチャートである。

【図30】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から焼香・献花の代行を依頼するまでを示すフローチャートである。

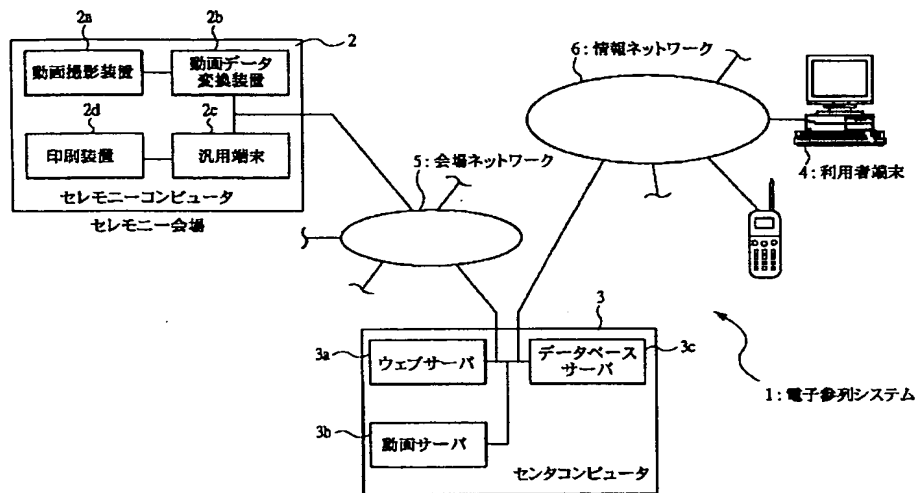
【図31】図1の電子参列システムを用いて利用者端末から供花・供物を依頼するまでを示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 電子参列システム
- 2 セレモニコンピュータ（データ処理手段）
 - 2 a 動画撮影装置（撮影手段）
 - 2 b 動画データ変換装置
 - 2 c 汎用端末（処理端末）
 - 2 d 印刷装置
- 3 センタコンピュータ（システム処理手段）
 - 3 a ウェブサーバ
 - 3 b 動画サーバ
 - 3 c データベースサーバ
- 4 利用者端末
- 5 会場ネットワーク（第1ネットワーク）
- 6 情報ネットワーク（第2ネットワーク）

【図 1】

図 1



【図 2】

図 2

セレモニー種別

- ・ 結婚式(仏式)
- ・ 結婚式(神式)
- ・ …
- ・ 告別式(…宗)
- ・ …

次へ

【図 3】

図 3

故人名

喪主名

続 柄

日 付 年 月 日

開始時刻 時 分

終了時刻 時 分

次へ

【図 4】

図 4

利用機能

- ・ 会場の映像中継
- ・ 配帳受付
- ・ 香典受付
- ・ 焼香・献花受付
- ・ 供花・供物受付
- ・ …

次へ

【図 5】

図 5

利用者機能関連締切時刻

開始時刻 ××時 ××分

終了時刻 ××時 ××分

配帳受付締切 時 分

香典受付締切 時 分

・ …

次へ

【図6】

図 6

セレモニー公開/非公開

- 公 開
- 非公開

次へ

【図7】

図 7

登録内容確認

会 場 XXXX
主 催 者 XXXXX
日 付 XX月XX日
開始時刻 XX時XX分
 :

利用機能

◦ 会場の映像中継
◦ 記憶受付

確認 戻る

【図9】

図 9

会場所在地の選択

都道府県を選択

【図8】

図 8

初 期 画 面

セレモニー検索

セレモニーIDアクセス

【図11】

図 11

日付を選択

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月
11月

【図10】

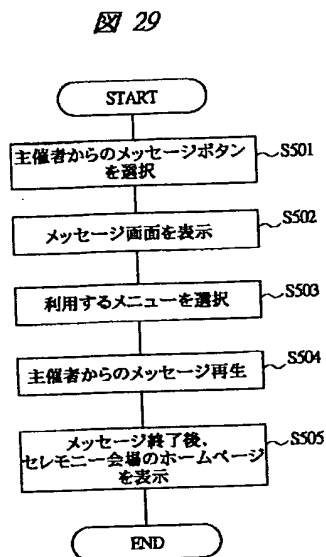
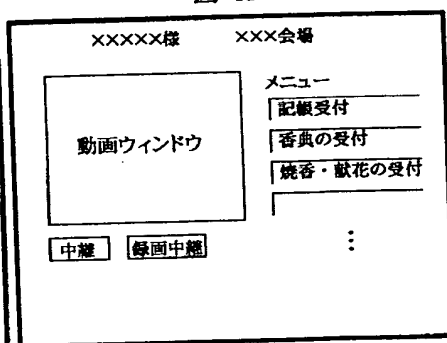
図 10

会場を選択

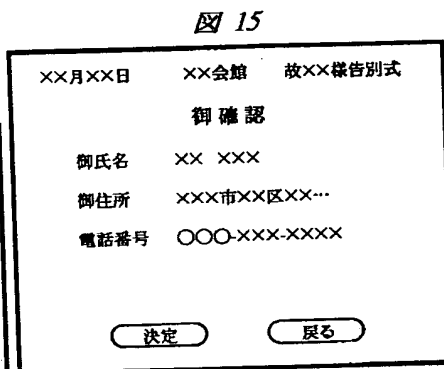
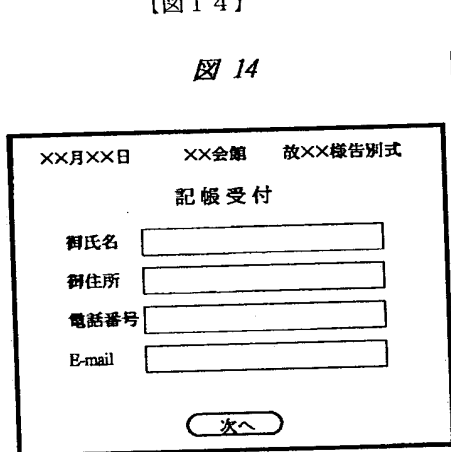
XXX会場	XX市XX区...
XXホール	XX市...
⋮	⋮
⋮	⋮
⋮	⋮

【图 13】

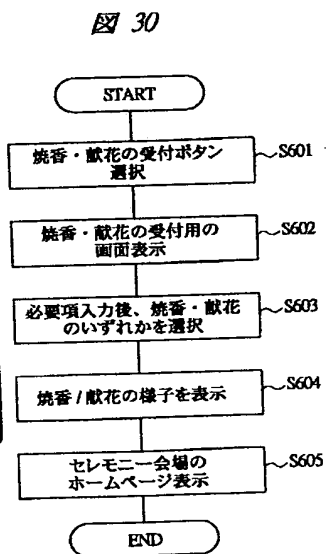
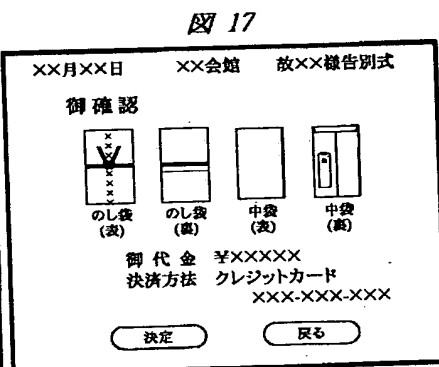
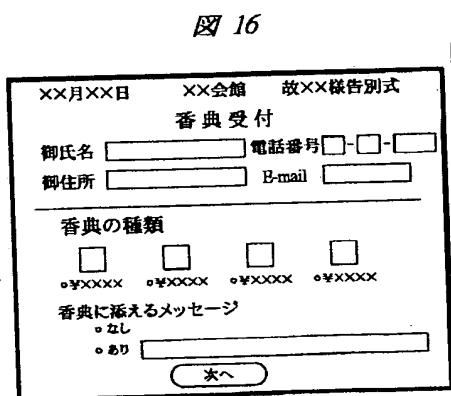
【图 29】



【图 15】



【図 17】



【図18】

図 18

XX月XX日 XX会館 故XX様告別式

メッセージ受付

宛 名

御氏名

御住所

電話番号 --

E-mail

文章によるメッセージ

- ・あり
- ・なし

次へ

【図19】

図 19

用紙の選択

☐ ☐ ☐ ☐

文章の選択

- ・ご逝去の…
- ・ }
- ・ 自分で書く

次へ

【図20】

図 20

XX月XX日 XX会館 故XX様告別式

喪主挨拶

個人からの
生前のメッセージ

【図21】

図 21

XX月XX日 XX会館 故XX様告別式

焼香・献花の受付

御氏名

御住所

焼香依頼 献花依頼 戻る

【図22】

図 22



【図23】

図 23

XX月XX日 XX会館 故XX様告別式

供花・供物の受付

御氏名 電話番号 --

御住所 E-mail

供花・供物の種類

☐ ☐ ☐ ☐

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

供花・供物に添えるメッセージ

- ・なし
- ・あり

次へ

【図 24】

図 24

××月××日 ××会館 故××様告別式

御 確 認

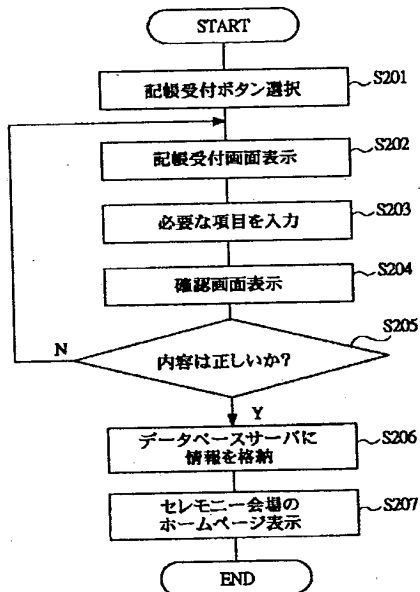
選択された供花・供物

×××××	¥×××××
×× ×××	¥×××××
合 計	¥×××××

決済方法 クレジットカード
 ×××-×××-×××

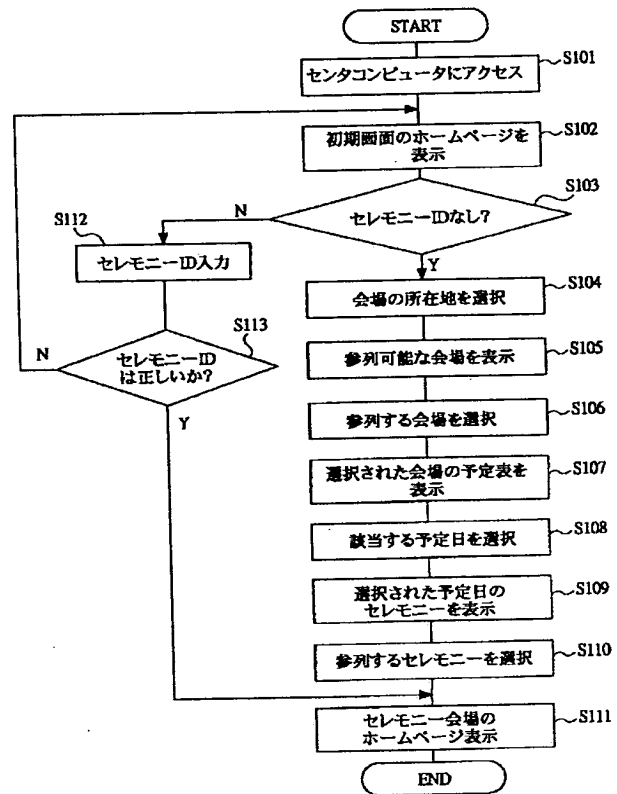
【図 26】

図 26

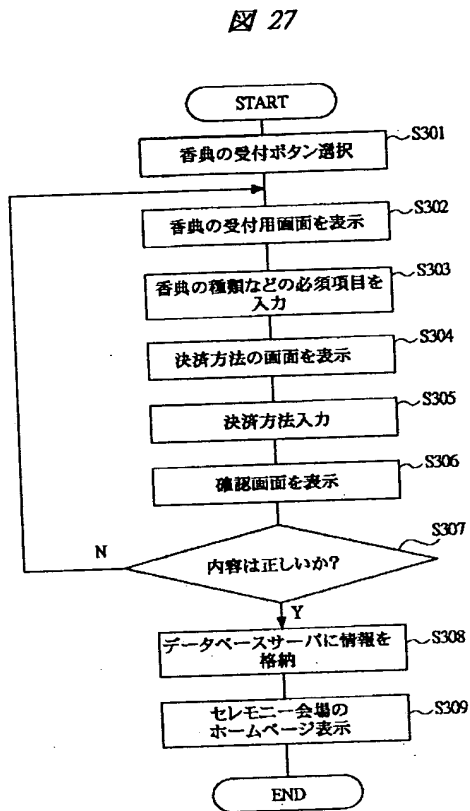


【図 25】

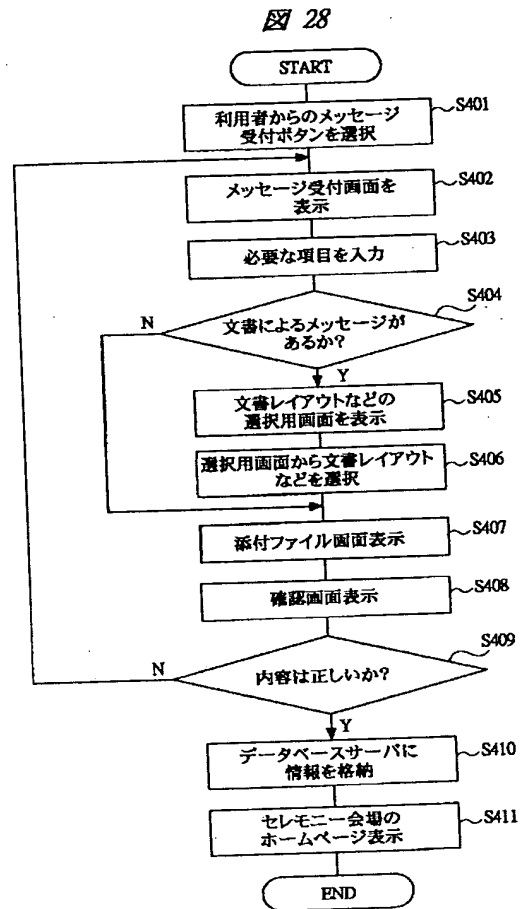
図 25



【図 27】



【図 28】



【図 31】

